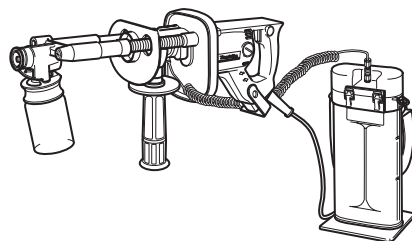




## 取扱説明書

## ダイヤモンドドリル

□ モデル DT0600



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。  
マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびはダイヤモンドドリルをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。  
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。  
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



# 目次

|                            |    |
|----------------------------|----|
| ・ 主要機能                     | 3  |
| ・ 安全上のご注意                  | 4  |
| ・ ダイヤテックドリル安全上のご注意         | 10 |
| ・ 冷却剤ポンベ安全上のご注意            | 12 |
| ・ 各部の名称および標準付属品            | 13 |
| ・ 別販売品のご紹介                 | 14 |
| ・ お使いになる前の準備               | 16 |
| ・ 本製品、チューブコンプリート、ポンベホルダの接続 | 16 |
| ・ ポンベホルダへの冷却剤ポンベのセット方法     | 17 |
| ・ 使い方                      | 18 |
| ・ ダイヤビット、ビットボディの取り付け方      | 18 |
| ・ 穴あけ深さの調節                 | 19 |
| ・ スイッチの操作                  | 20 |
| ・ 穴あけ方法                    | 20 |
| ・ スイッチを入れる前に               | 21 |
| ・ スイッチを入れた後に               | 21 |
| ・ フックの使い方                  | 22 |
| ・ 別販売品の使い方                 | 23 |
| ・ 水タンクを使用する場合              | 23 |
| ・ 保守・点検について                | 25 |
| ・ 日常の清掃・点検                 | 25 |
| ・ リングの交換                   | 25 |
| ・ ノーズラバーの交換                | 25 |
| ・ カーボンブラシの交換               | 26 |
| ・ ご修理の際は                   | 26 |

## 主要機能

| 主要機能  |       | モデル | DT0600                            |
|-------|-------|-----|-----------------------------------|
| 電動機   |       |     | 直巻整流子電動機                          |
| 電圧    |       |     | 単相交流 100 V                        |
| 電流    |       |     | 5.5 A                             |
| 周波数   |       |     | 50-60 Hz                          |
| 消費電力  |       |     | 520 W                             |
| 回転数   |       |     | 10,000 min <sup>-1</sup> (回転 / 分) |
| 穴あけ能力 | 穴あけ深さ |     | 0 ~ 100 mm                        |
|       | 穴径    |     | φ 5 ~ 12.5 mm                     |
| 全長    |       |     | 498 mm                            |
| 質量    |       |     | 2.7 kg                            |

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

## 注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

### 警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

### 注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

### 注

：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

## ⚠ 警告

### 作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
  - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
  - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
  - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
  - ・ 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。

### 電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
  - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
  - ・ 感電する恐れがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
  - ・ 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
  - ・ 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
  - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
  - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
6. アース（接地）付きプラグやアース線がある場合、アース線をガス管に接続しないでください。
  - ・ 発火や爆発の原因になります。
7. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
  - ・ 表示を超える電圧で使用すると、モータの回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

## ⚠ 警告

### 作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
  - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
  - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、電動工具を使用しないでください。
  - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは電動工具を使用しないでください。
  - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
  - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
  - ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
  - ・ 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
  - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
  - ・ 本機に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
  - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
  - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
  - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
  - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
  - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
  - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

### 電動工具の使用および手入れ

1. 電動工具は能力に合った作業に使用してください。
  - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スwitchに異常がないか点検してください。
  - ・ スwitchで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

## ⚠ 警告

3. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
  - ・ 本機の調整
  - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
  - ・ 保管、または修理
  - ・ 電動工具から離れるとき
  - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない電動工具は、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
  - ・ 電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
  - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
  - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
  - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - ・ 電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
  - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
  - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
  - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
  - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本機の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
  - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
10. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
  - ・ 理解せずに使用することは危険です。
11. 子供や取り扱いに詳しくない人に本機を使用させないでください。
  - ・ けがや事故の原因になります。

## ⚠ 警告

### 整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
  - ・ 本機を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
  - ・ 本機が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
  - ・ 本機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
  - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
  - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

### その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
  - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
  - ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
  - ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
- <異常・故障例>
  - ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
  - ・ 電源コードに深いキズや変形がある。
  - ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
  - ・ 焦げくさい臭いがする。
  - ・ ビリビリと電気を感ずる。
  - ・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
  - ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
  - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（材料を動かして加工する製品を除く。）
4. 電源プラグにぬれた手で触れないでください。
  - ・ 感電の恐れがあります。

## ⚠ 警告

### 5. 使用できる延長コードの太さ（導体公称断面積）と最大長さの目安

- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。
- ・ 延長コードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

| コードの太さ<br>(導体公称断面積) | 銘板記載の定格電流値で使用する長さの目安 |          |           |
|---------------------|----------------------|----------|-----------|
|                     | ～ 5 A                | 5 ～ 10 A | 10 ～ 15 A |
| 2.0 mm <sup>2</sup> | 50 m                 | 30 m     | 20 m      |

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

### ●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

# ダイヤテックドリル安全上のご注意

JPB066-1

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ダイヤテックドリルとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

## ⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
  - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
  - ・ 埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
3. 回転中のビットにコードが接触しないようにしてください。
  - ・ 感電の原因になります。
4. 使用中は、振り回されないよう本体を確実に保持してください。
  - ・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
5. 使用中は、キリなどの工具類や回転部、切りクズなどの排出物に手や顔などを近づけないでください。
  - ・ けがの原因になります。
6. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理を依頼してください。
  - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
7. 誤って落したり、ぶつけたときは、キリなどの工具類や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

## ⚠ 注意

1. 工具類（ダイヤビットなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
  - ・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
  - ・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
3. 冷却剤ポンペは空の状態で使用しないでください。
  - ・ ダイヤビットが発熱し使用できなくなります。
  - ・ この場合やけどの原因になります。
4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
  - ・ 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。
5. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
  - ・ けがの原因になります。

## 注

- ・ 電源が離れていて、つなぎコードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

| コードの太さ<br>(導体公称断面積)  | 銘板記載の定格電流値で使用する最大の長さ |          |           |
|----------------------|----------------------|----------|-----------|
|                      | ～ 5 A                | 5 ～ 10 A | 10 ～ 15 A |
| 0.75 mm <sup>2</sup> | 20 m                 | —        | —         |
| 1.25 mm <sup>2</sup> | 30 m                 | 15 m     | 10 m      |
| 2.0 mm <sup>2</sup>  | 50 m                 | 30 m     | 20 m      |

- ・ つなぎコードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

# 冷却剤ボンベ安全上のご注意

冷却剤ボンベは、高圧ガス（DME/CO<sub>2</sub>）を使用した可燃性の製品ですので下記の注意事項を必ず守ってください。

## ⚠ 警告

容器（ボンベ）が加熱すると容器内の圧力が上がり爆発の恐れがあります。次のような行為はおやめください。

- ・ 容器をストーブ（ファンヒーター）などの熱気のある所に置かないでください。
- ・ 容器を火の中に投げ入れないでください。

### 破裂注意

#### 1. 車内・清掃車内爆発

- ・ 自動車内に放置しますと車内温度上昇により爆発の恐れがありますので自動車内に放置しないでください。火災の恐れあり。容器は完全に使いきってから、ほかのゴミと区別して捨ててください。

#### 2. 使用済みの容器はお客様がお住まいの市町村の規定にしたがい、穴を開けて（あるいは穴を開けずに）廃棄してください。容器に冷却液が残っている場合は、冷却液をすべて流し出してから廃棄してください。

#### 3. 容器は 40℃以下で湿度の少ない場所にキャップをして保管してください。高温の場所に保管すると爆発・火災の恐れがあります。また容器に錆が発生している場合には、液漏れがないことを確認後、できるだけ早く使用してください。

#### 4. 炎天下で使用する時は、必ず容器を日陰に静置してください。

#### 5. 人体に向かって噴射しないでください。

#### 6. 目に入った時は、大量の水で洗い流してください。もし異常がある場合は医師に相談してください。また口に入った時は、飲み込まず、うがいをし、医師に相談してください。

- ・ 使用目的以外に使用しないでください。
- ・ 有機溶剤配合ですので使用の時は十分に換気をしてください。
- ・ 子供の手の届く所に置かないでください。
- ・ 直射日光のあたる所に置かないでください。

### 火気と高温に注意

#### 1. 炎や火気の近くで使用しないでください。

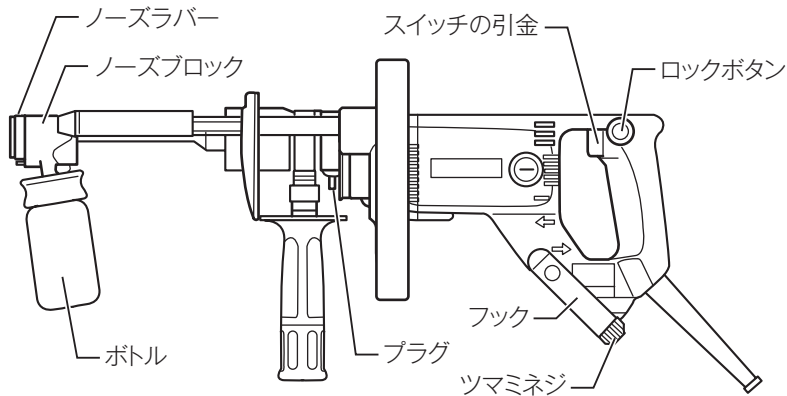
#### 2. 火気を使用している室内で使用しないでください。

#### 3. 高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気などの近くなど温度が 40℃以上となる所に置かないでください。

#### 4. 火の中に入れないでください。

#### 5. 使い切って捨ててください。

## 各部の名称および標準付属品

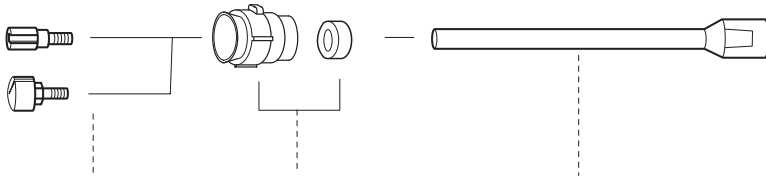


### 標準付属品

- ・ ビットボディ 6,8.5,10.5,12.5
- ・ スパナ 3.5-13
- ・ ダイヤビット 6,8.5,10.5,12.5
- ・ チューブコンプリート
- ・ リングセット品 6,8.5,10.5,12.5  
(ノーズラバー＋リング＋スポンジリング)  
※ビットボディ、ダイヤビット、リングセット品は各サイズごとにセットにして同梱しています。
- ・ ボンベホルダ  
※ボンベホルダ別売りモデルをお買い上げいただいた場合で、冷却剤を使われる場合はボンベホルダと冷却剤ポンペを、水を使われる場合は、水タンクとジョイントコンプリートを別売りにてお求めください。
- ・ ホース (3 m)
- ・ プラスチックケース

## 別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。



### ・ ダイヤビット

| 刃物径 (mm) | 部品番号              |
|----------|-------------------|
| 5        | A-31865<br>(5個1組) |
| 6        | A-31859<br>(5個1組) |
| 6.5      | A-31843<br>(5個1組) |
| 8        | A-33439           |
| 8.5      | A-33277           |
| 10       | A-33445           |
| 10.5     | A-33283           |
| 12       | A-35639           |
| 12.5     | A-33299           |

### ・ リングセット品

| 名称                                    | 部品番号    |
|---------------------------------------|---------|
| リング 5<br>セット品                         | A-44563 |
| リング 6・6.5<br>セット品<br>座ぐりビット<br>9.3 対応 | A-44579 |
| リング 8・8.5<br>セット品                     | A-44585 |
| リング 10<br>セット品                        | A-44591 |
| リング 10.5<br>セット品                      | A-44600 |
| リング 12、12.5<br>セット品                   | A-44616 |

### ・ ビットボディ

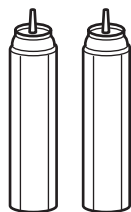
| 名称                                   | 部品番号    |
|--------------------------------------|---------|
| ダイヤモンド<br>5 用                        | A-31837 |
| ダイヤモンド<br>6・6.5 用<br>座ぐりビット<br>9.3 用 | A-31821 |
| ダイヤモンド<br>8・8.5 用                    | A-33308 |
| ダイヤモンド<br>10 用                       | A-33451 |
| ダイヤモンド<br>10.5 用                     | A-33314 |
| ダイヤモンド<br>12・12.5 用                  | A-33320 |

### ・ 座ぐりビット

| 刃物径 (mm) | 部品番号              |
|----------|-------------------|
| 9.3      | A-31871<br>(5個1組) |

## 別販売品のご紹介

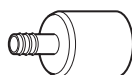
- ・ 冷却剤ボンベ  
部品番号:A-31815(1箱6本入り)  
(2本セットでご使用ください)



- ・ 水タンク 7L  
部品番号:A-57439



- ・ ホースジョイント  
部品番号:A-34665



- ・ 水タンク 12L  
部品番号:HA00000238



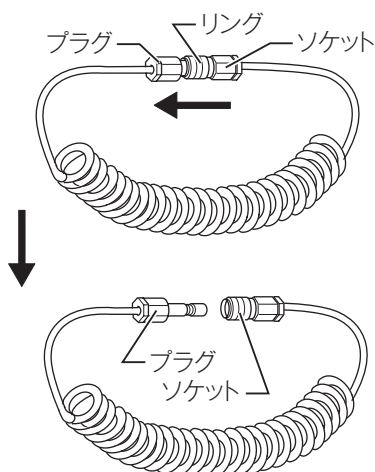
- ・ ジョイントコンプリート  
部品番号:A-34671



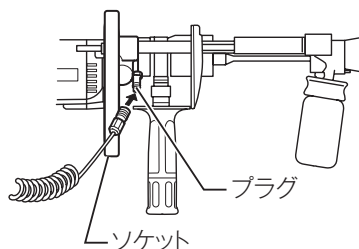
## お使いになる前の準備

### 本製品、チューブコンプリート、ボンベホルダの接続

- チューブコンプリートのソケットとプラグを右図のように、リング部をずらして取り外してください。

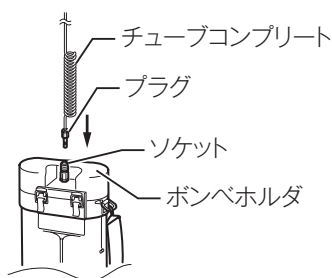


- チューブコンプリートのソケット側を本製品のプラグに差し込んでください。



### 注

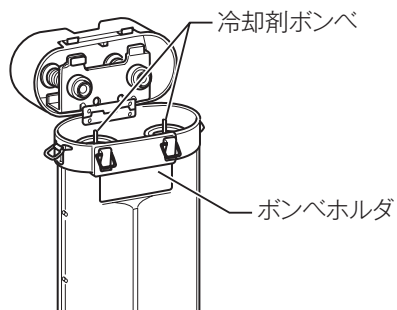
- チューブコンプリートを本製品より取り外す際、プラグより冷却剤が噴出する場合があります。顔などにかからないように注意してください。
- チューブコンプリートのプラグ側をボンベホルダのソケットに差し込んでください。



## お使いになる前の準備

### ポンベホルダへの冷却剤ポンベのセット方法

- ・ 冷却剤ポンベは必ず 2 本ずつセットしてください。



### 注

- ・ 冷却剤ポンベ交換時、ポンベホルダのフタを開けた時、ポンベとフタの接続部分より冷却剤が噴出する場合があります。顔などにかからないように注意してください。

# 使い方

## ダイヤモンドビット、ビットボディの取り付け方

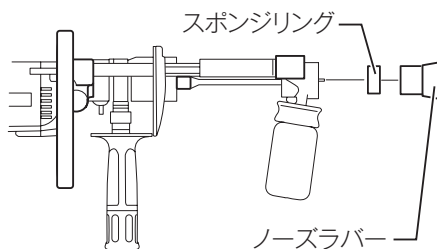
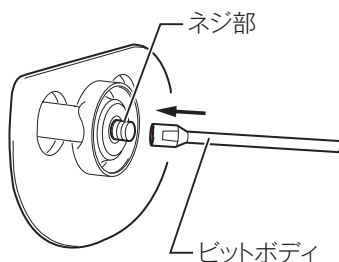
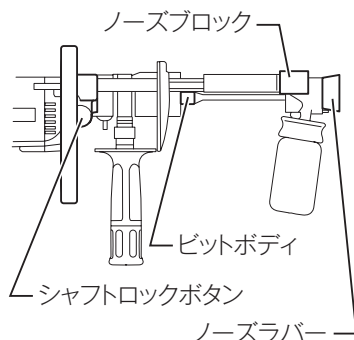
### ⚠ 警告

ダイヤモンドビット、ビットボディの取り付け、取りはずしの際は必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。また本製品からチューブコンプリートを取り外してください。

- ・ プラグを電源につないだまま行くと、事故の原因になります。

### ビットボディの取り付け方

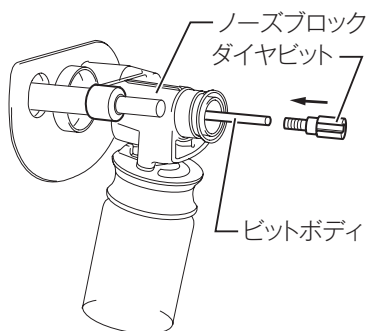
- ・ ノーズラバーを取りはずしてください。
- ・ ビットボディを本製品ネジ部に右に回してネジ込んでください。
- ・ シャフトロックボタンを押しながら、付属のスパナでしっかり締め付けてください。
- ・ ビットボディを取り付けた後、スポンジリング、ノーズラバーの順に取り付けてください。
- ・ ビットボディのサイズに対応したリング、スポンジリングを取り付けてください (P14 参照)。



# 使い方

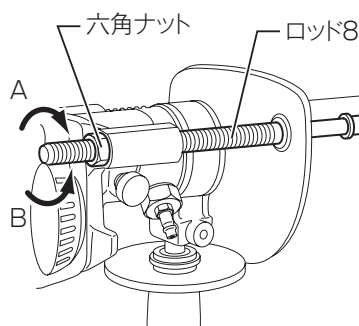
## ダイヤモンドの取り付け方

- ・ ノーズブロックを押し下げてください。
- ・ ビットボディにダイヤモンドを右に回してネジ込んでください。
- ・ シャフトロックボタンを押しながら、付属のスパナでしっかり締め付けてください。
- ・ 取りはずす場合は取り付け方の逆の要領で行ってください。
- ・ ビットボディのサイズに対応したダイヤモンドを取り付けてください。(P14 参照)。



## 穴あけ深さの調節

- ・ 六角ナットを付属のスパナでゆるめてください。
- ・ ロッド8を回して穴あけ深さを調節してください。
- ・ A方向に回せば浅く、B方向に回せば深くなります。
- ・ 穴あけ深さを調節後、六角ナットを付属のスパナでしっかり締め付けてください。



# 使い方

## スイッチの操作

### ⚠ 警告

電源にプラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたままプラグを差し込むと急に動きだし事故の原因になります。
- ・ スイッチは引金を引くと入り、離すと切れます。スイッチの引金を引いてからロックボタンを押し込むと、引金を離しても引金が固定され連続運転します。
- ・ 停止させるには、もう一度引金を引いてロックボタンが戻ってから引金を離してください。

## 穴あけ方法

### ⚠ 警告

必ず労働安全規則や電気設備の技術基準などに規定された、感電防止用漏電しゃ断装置の設置された電源で使用してください。

無い場合は、マキタ純正漏電しゃ断器を使用してください。

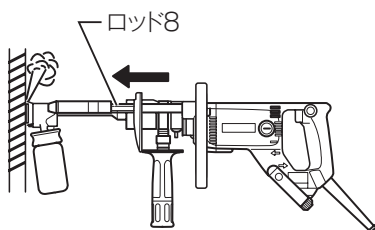
本製品は作業者を感電事故より守るため、二重絶縁構造を施してありますが、より安全を期すために、必ずゴム長靴、ゴム手袋を着用してください。冷却剤の廃液は可燃性がありますので、タバコ、マッチなど火気を近づけないで水でうすめて捨ててください。

- ・ 使用済みの容器はお客様がお住まいの市町村の規定にしたがい、穴を開けて（あるいは穴を開けずに）廃棄してください。容器に冷却液が残っている場合は、冷却液を全て流し出してから廃棄してください。

# 使い方

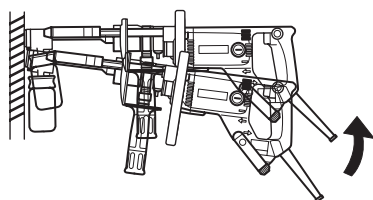
## スイッチを入れる前に

- ・ ダイヤビットを壁面などに押し当て冷却剤が噴出することを確認してください。
- ・ 穴あけ深さに合わせて、ロッド8のネジを調節してください。
- ・ ボンベホルダが転倒しないようにしてください。
- ・ 高所より落下しないようにボンベホルダの一部を固定してください。



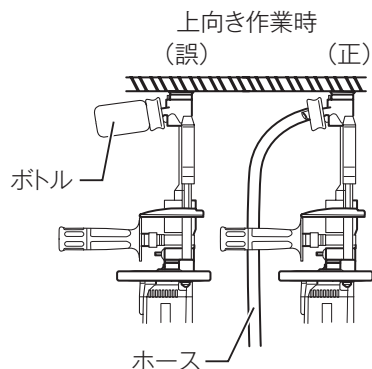
## スイッチを入れた後に

- ・ ダイヤビットを押し当ててください。
- ・ 斜めに当てますと位置決めしやすくなります。壁面が削れダイヤビットが滑らないことを確認しながらドリルを垂直に当ててください。



## 注

- ・ 長時間の無負荷回転は本製品が熱くなりますので十分注意してください。
- ・ 本製品に冷却剤の廃液がかからないように十分注意してください。
- ・ 穴あけ直後は冷却剤が少量噴出することがありますので人に向けてください。
- ・ 上向き作業時はボトルから冷却剤の廃液が流れ出る場合がありますので本製品にはボトルのかわりに、付属のホースをつないで使用してください。



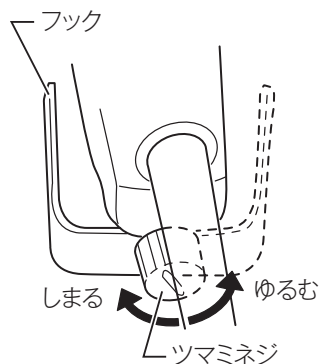
## 使い方

### 注

- ・ 2 本組の冷却剤ポンベはまれに内圧の差により 1 本のみ冷却剤が極端に減る場合があります。この場合 2 本とも新品に交換してください。
- ・ 作業中ダイヤモンドの穴に切屑が詰まり冷却剤が出ないことがあります。このような場合にはダイヤモンドを取り外して切屑を取り除いてください。詰まったまま使用すると作業能率が低下するばかりでなく、ビット損傷など故障の原因となります。
- ・ 穴あけ中に本製品をこじたり、強く押ししたりしないでください。本製品を無理に押すと過負荷となり、モータ焼損の原因になります。

### フックの使い方

- ・ フックの取付方向、取付位置を変えることにより、本体の左右どちら側でも使用できます。また、フックの取付位置を変えることによりフトコロ寸法を 2 通りに使用できます。
- ・ フックの付替えは、取付用ツマミネジを手で外すだけで行えます。



## 別販売品の使い方

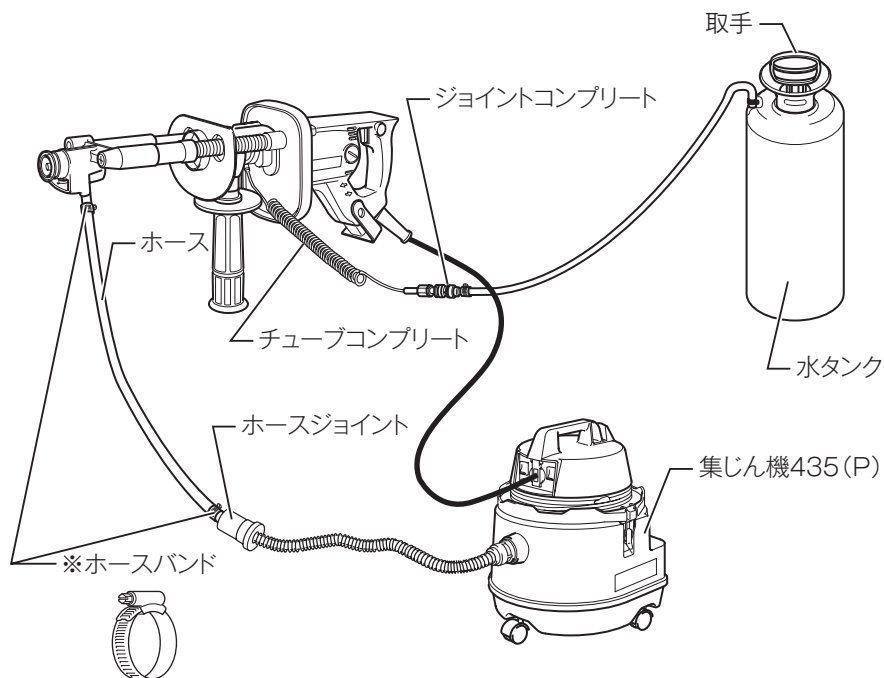
### 水タンクを使用する場合

#### ⚠ 警告

冷却剤ポンプを使用する場合は、集じん機を接続しないでください。

- ・ 冷却剤には引火性の溶液が含まれていますので、爆発の恐れがあります。

- ・ 水タンクを使用する場合は、本製品、水タンクを下図のように接続し、水タンクの取手を上下させ十分に加圧してください。
- ・ また、集じん機 435 (P) を併用することで、より衛生的な作業が行えます。



※市販のホースバンドを使用してください。

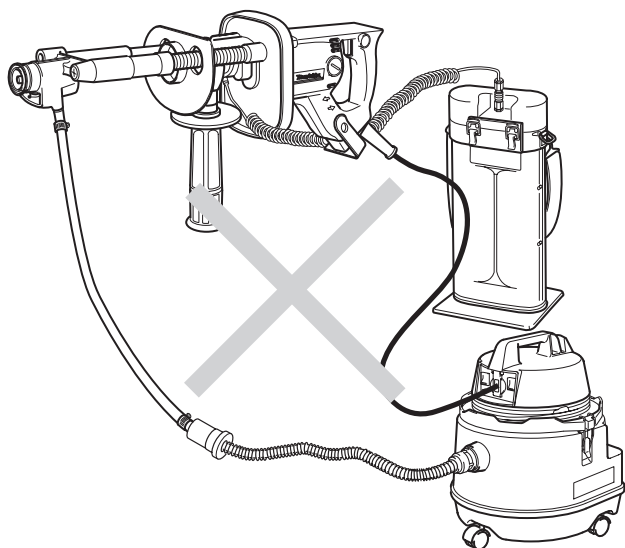
#### 注

- ・ 使用中、水タンクの水圧が弱くなった時は、再度加圧してください。
- ・ 水圧が弱いまま使用すると、ダイヤビットに切屑が詰まる原因になります。

## 別販売品の使い方

### ⚠ 警告

冷却剤ポンプを使用する場合は、集じん機を接続しないでください。  
冷却剤には引火性の溶液が含まれていますので、爆発の恐れがあります。



## ⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

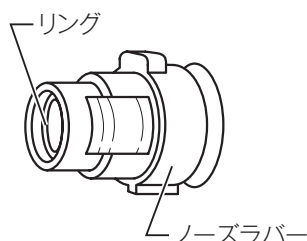
- ・ プラグを電源につないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

## 日常の清掃・点検

- ・ ボトル部は、作業中、常にコンクリートの切屑が付着します。この切屑をそのまま放置しますと固まってしまい、後で清掃がしにくくなります。
- ・ 作業後はなるべく早く水などで清掃してください。また、スプリングのスライド軸の部分は特に注意し、時々グリスや油を付け、軸がスムーズに動くように保守をしてください。

## リングの交換

- ・ リングの穴の部分は使用するに従って摩耗し、穴が大きくなり、この部分から切屑の漏れが多くなります。この様なときはノーズラバーからリングを取り外し交換してください。



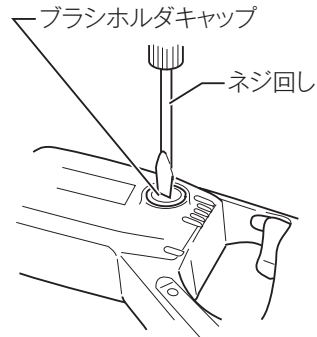
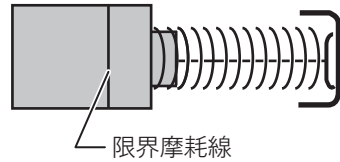
## ノーズラバーの交換

- ・ ノーズラバーは壁面に多少凹凸があっても切屑が外へ流れ出さないようにするためのものですが常に壁面に押し付けられているため、使っているうちにその効果が低下してきますので時々交換してください。

## 保守・点検について

### カーボンブラシの交換

- ・カーボンブラシは定期的に取りはずして点検してください。  
カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。  
新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。
- ・ネジ回しでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
- ・中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。  
カーボンブラシは2個で1組になっております。取り替えるときは、必ず両側とも同時に行ってください。



### ご修理の際は

- ・修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。



881946E7  
IWT

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502  
TEL.0566-98-1711（代表）